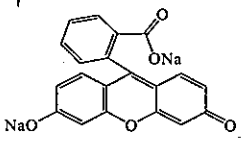
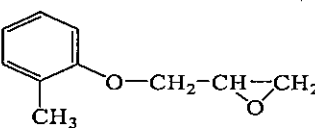
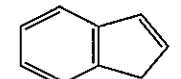
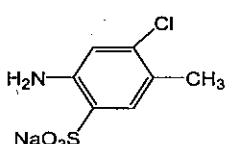
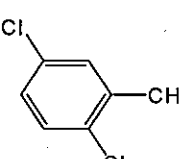
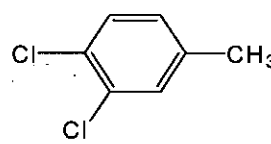
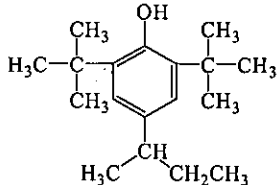


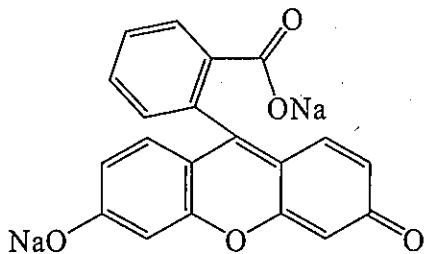
K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 (0内は既判定)	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1825	ジナトリウム=2-(6-オキシド-3-オキソ-3H-キサンテン-9-イル)-ベンゾアート (518-47-8) 5-673 5-1416 	BOD : -2, 0, 1 (0) ^{*1} TOC : 0, 1, 1 (0) HPLC: 1, 1, 1 (1)	有機物質の塩 であるため測 定不可 -0.67 ^{*2}	1区: 0.27倍以下 2区: 2.7倍以下 脂質含有率 開始前 2.94% 終了後 4.14%	難分解性 高濃縮性では ない	なし	1
1827	[(2-メチルフェノキシ)メチル]オキシラン (2210-79-9) 3-0574 	BOD : -3, -3, -2 (0) ^{*1} TOC : 2, 3, 1 (2) HPLC: 91, 91, 90 (90) 被験物質の大部分が加水分解 して、3-(2-メチルフェノキ シ)-1,2-プロパンジオールを 生成し、残留した。	2.28 (フラスコ振 とう法) 2.16 ^{*2}	分配係数から類推	難分解性 高濃縮性では ない	なし	4
1828	1H-インデン (95-13-6) 4-0580 	BOD : -6, -6, -4 (0) ^{*1} HPLC: 0, 1, 1 (1)	3.02 (フラスコ振 とう法) 3.25 ^{*2}	分配係数から類推	難分解性 高濃縮性では ない	なし	7
143B	4-アミノ-2-クロロトルエン-5-スルホン酸ナトリウム (6627-59-4) 3-2024 	審議済(難分解性) (平成19年10月26日) BOD : 0, 0, 2 (1) HPLC: -2, -1, -1 (0)	-	1区: <3倍 2区: <24倍 脂質含有率 開始前 8.2% 終了後 7.0%	(難分解性) 高濃縮性では ない	なし	10
1201C	2,5-ジクロロトルエン (19398-61-9) 3-0078 	審議済(難分解性) (平成19年10月26日) BOD : 0, 0 (0) GC : -2, -5 (0) Closed bottle法	3.83 ^{*2}	1区: 1190倍 2区: 1160倍 脂質含有率 開始前 5.6% 終了後 6.0%	(難分解性) 高濃縮性では ない	なし	12
1201D	3,4-ジクロロトルエン (95-75-0) 3-0078 	審議済(難分解性) (平成19年10月26日) BOD : 0, 0 (0) GC : -3, 1 (1) Closed bottle法	3.83 ^{*2}	1区: 1100倍 2区: 866倍 脂質含有率 開始前 6.1% 終了後 6.6%	(難分解性) 高濃縮性では ない	なし	15

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 (0内は既判定)	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1760	2, 6-ジ-tert-ブチル-4-sec-ブチルフェノール (17540-75-9) 3-0540 	審議済(難分解性) (平成18年7月21日) BOD: -1, -1, -1 (0)*1 HPLC: 3, 2, 1 (2) 被験物質の一部が試験液から 炭酸ガス吸収剤に移行した。	6.43*2	1区: 32000倍 2区: 33000倍 脂質含有率 開始前 4.16% 終了後 5.34%	(難分解性) 高濃縮性	なし	18

*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

*2 Kowwin v1.67 SRC-LOGKOW for Microsoft Windowsによる計算値

*3 フラスコ振とう法による予備値

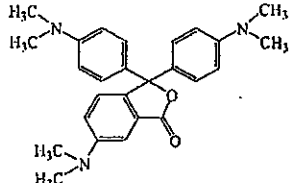
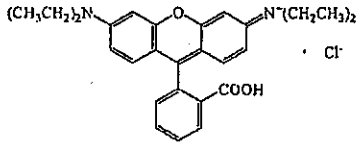
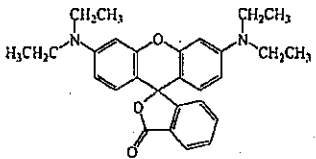
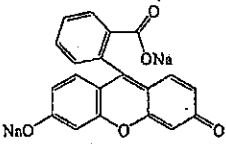
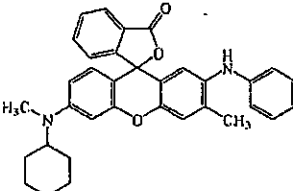
整理番号 K-1825 (5-673, 5-1416)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
ジナトリウム=2-(6-オキシド-3-オキソ-3H-キサンテン-9-イル)-ベンゾアート [別名 アシッド エロー-73] (518-47-8)		事業対象年度 平成19年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日	
		試験期間 19.10.3~20.2.1		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状 		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮	
		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
分子式 C ₂₀ H ₁₀ Na ₂ O ₅ 分子量 376.27		間接 BOD -2, .0, 1 (0) %		間接		間接	
		直接 TOC 0, 1, 1 (0) %		直接		直接	
純度*1 92.1%		外観 橙色粉末		試験結果		試験結果	
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 7.9%は不明		溶解度 (対水, その他) 対水 300g/L 以上 (20℃) (フラスコ法) 対メタノール 10g/L 以上		HPLC 1, 1, 1 (1) %			
融点 測定不可 (黒色に変化)		1-オクタノール/水分配係数 有機物質の塩であるため 測定不可		審査部会 第77回		審査部会 第 回	
沸点 測定不可 (黒色に変化)				20年 7月25日開催		年 月 日開催	
蒸気圧 3.18×10 ⁻⁵ Pa 以下 (気体流動法, 80℃)		加水分解性 pH4, 7, 9 加水分解性なし		判定		判定	
密度				備考		備考	
LD50		解離定数 有機物質の塩であるため 測定不可		備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 98.4% (汚泥+被験物質)系 99.0% 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。			
IRチャートの有無 (有) ・ 無							
用途							
生産量*2 (16年) 未公表							
試料 購入先 東京化成工業							
経済産業公報発表年月日		年 月 日					

*1 HPLCによる。 *2 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験		事業対象年度 平成19年度		濃縮度試験		濃縮度試験		濃縮度試験		毒性試験			
試験期間		19.10.1 ~ 20.2.7		試験期間		~		試験期間		年月日			
試験装置 (標)・揮		LC50値 >200 mg/L (96hr) 魚種(ヒメダカ)		試験装置 標・揮		LC50値 mg/L (hr) 魚種()		試験装置		種類			
水槽設定濃度 (mg/L)				水槽設定濃度 ()				水槽設定濃度		経過			
被験物質		分散剤		被験物質		分散剤		被験物質		経過			
第1濃度区		0.46		第1濃度区				第1濃度区					
第2濃度区		0.046		第2濃度区				第2濃度区					
第3濃度区				第3濃度区				第3濃度区					
濃縮倍率		脂質含有率 開始前 2.94% 終了後 4.14% 魚種(コイ)		濃縮倍率		脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種()		濃縮倍率		脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種()			
		6日後 9日後 13日後 21日後 28日後				日後 日後 日後 日後 日後				日後 日後 日後 日後 日後			
第1	水槽濃度 (mg/L)	0.462	0.459	0.459	0.460	0.462	第1	水槽濃度 ()					
	倍率	≤0.27	≤0.27	≤0.27	≤0.27	≤0.27		倍率					
第2	水槽濃度 (mg/L)	0.0459	0.0457	0.0461	0.0457	0.0460	第2	水槽濃度 ()					
	倍率	≤2.7	≤2.7	≤2.7	≤2.7	≤2.7		倍率					
第3	水槽濃度 ()						第3	水槽濃度 ()					
	倍率							倍率					
審査部会 第77回 20年 7月 25日 開催				審査部会 第 回 年 月 日 開催				審査部会 第 回 年 月 日 開催					
判定結果				判定結果				判定結果					
備考		[ばく露期間中における濃縮倍率] 第1濃度区 0.27倍以下 第2濃度区 2.7倍以下		備考				備考					
[回収率] 試験水* 100%		[定量下限濃度] 試験水 第1濃度区 11 µg/L 第2濃度区 1.1µg/L		[回収率] 供試魚 93.8%		[定量下限濃度] 供試魚 120ng/g		[回収率] 供試魚 93.8%		[定量下限濃度] 供試魚 120ng/g			
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構				[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構				[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構					

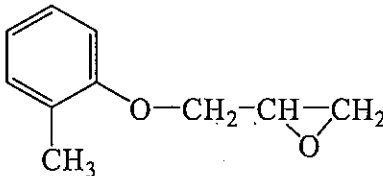
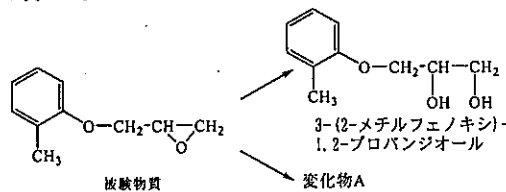
※試験液を直接分析機器に導入。

K-1825の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
3,3-ビス(<i>p</i> -ジメチル アミノフェニル)-6-ジ メチルアミノフタリド (1552-42-7)		5-0129 (K-1338)	標準(4W) 1997年実施 BOD 0, 0, 0 (0) HPLC 0, 4, 0 (1)	難分解性 (1997)	1999年実施 5.27 (プラスチックと汚)	>80.0 (48hr)	1999年実施 1区(50µg/L): 500~1300 2区(5µg/L): 636~1670 脂質含有率 4.1%	高濃縮性 ではない (1999)
2-(3-ジエチルイミニ オ-6-ジエチルアミノ- 3 <i>H</i> -キサンテン-9-イ ル)安息香酸=クロリド (3375-25-5)		5-1973 5-4056 (K-847)	標準(4W) 1987年実施 BOD 0, 0, 0 (0) TOC 3, 2, 0 (2) VIS(555nm) 8, 8, 5 (7)	難分解性 (1987)	1987年実施 1.9~2.0	33.9 (48hr)	1987年実施 1区(100µg/L): <0.2 2区(10µg/L): <1.7 脂質含有率 3.9%	高濃縮性 ではない (1987)
3',6'-ビス(ジエチル アミノ)-スピロ[イソ ベンゾフラン-1(3 <i>H</i>), 9'-[9 <i>H</i>]キサンテン]- 3-オン (509-34-2)		5-3090 (K-1762)	標準(4W) 2005年実施 BOD -3, -2, -2 (0)*1 TOC 2, 0, 3 (1) HPLC 1, 1, 1 (1)	難分解性 (2006)	6.63*2			
ジナトリウム=2-(6- オキシド-3-オキノ- 3 <i>H</i> -キサンテン-9- イル)-ベンゾアート (518-47-8)		5-1416 (K-1825)	標準(4W) 2008年実施 BOD -2, 0, 1 (0)*1 TOC 0, 1, 1 (1) HPLC 1, 1, 1 (1)		測定不可	>200 (96hr)	2008年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(0.46 mg/L): ≤0.27 2区(0.046mg/L): ≤2.7 脂質含有率 開始前 2.94% 終了後 4.14%	
3-(<i>N</i> -シクロヘキシ ル- <i>N</i> -メチルアミノ)- 6-メチル-7-アニリ ノフルオラン (55250-84-5)		5-3631 (K-1655)	標準(4W) 2003年実施 BOD -8, -6, -3 (0)*1 HPLC 0, 0, 0 (0)	難分解性 (2003)	8.60*2	>15.0 (96hr)	2005年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(10µg/L): 2400 2区(1µg/L): 2500 脂質含有率 開始前 2.58% 終了後 3.80%	高濃縮性 ではない (2005)

*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

*2 Kowwin v 1:67 による計算値。

整理番号 K-1827 (3-0574)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
[(2-メチルフェノキシ)メチル]オキシラン		事業対象年度 平成19年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日	
(2210-79-9)		試験期間 19.11.7~20.3.6		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
		試験装置 (標)・揮		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮	
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₁₀ H ₁₂ O ₂ 分子量 164.20		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
純度*1 92.4% 不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 7.6%は不明		外観 無色透明液体		試験結果 間接 BOD -3, -3, -2 (0)% TOC 2, 3, 1 (2)% HPLC 91, 91, 90 (90)%		試験結果 間接 直接	
		溶解度(対水, その他)					
		対水 785mg/L (20℃) 対アセトニトリル 10g/L 以上					
融点 測定不可(融点は-100~25℃に存在しない) 沸点 測定不可(210℃以上で変化)		1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 2.28 (フラスコ振とう法)		審査部会 第77回 20年 7月25日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催	
蒸気圧 8.15×10 ⁻¹ Pa (20℃) 密度 LD50 IRチャートの有無 (有)・無		加水分解性		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催	
用途*2 合成樹脂、脱水剤、乾燥剤		解離定数		判定 判定 判定		判定 判定 判定	
生産量*2 (16年) 製造及び輸入 10,000~100,000 t未滿		備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。		・被験物質は試験液中で加水分解し、被験物質の残留率は9~10%で、3-(2-メチルフェノキシ)-1,2-プロパンジオール(局方, log Kow = 1.41*3)が生成し、(汚泥+被験物質)系で78~82%残留した。(汚泥+被験物質)系では構造不明の変化物Aが2%生成し、残留した。また、HPLCクロマトグラム上の保持時間は被験物質、変化物A及び3-(2-メチルフェノキシ)-1,2-プロパンジオールは各々、5.3、4.7及び2.5分であることから、被験物質の極性が最も低い。			
試料 購入先 Aldrich Chemical							
経済産業公報発表年月日 年 月 日							

*1 Aldrich Chemical 添付資料による。

*2 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

*3 Kowwin v 1.67 による計算値。

濃縮度試験 事業対象年度 平成19年度					濃縮度試験契約 年 月 日				
試験期間 19. 9. 20 ~ 19. 11. 1					試験期間 ~				
試験装置 標・揮		LC50値 mg/L (hr)魚種 ()			試験装置 標・揮		LC50値 mg/L (hr)魚種 ()		
水槽設定濃度 ()					水槽設定濃度 ()				
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤		
第1濃度区					第1濃度区				
第2濃度区					第2濃度区				
第3濃度区					第3濃度区				
濃縮倍率		脂質含有率		開始前 終了後		% 魚種 ()			
		日後		日後		日後		日後	
第1	水槽濃度 ()								
	倍率								
第2	水槽濃度 ()								
	倍率								
第3	水槽濃度 ()								
	倍率								
審査部会 第 77 回 20年 7月 25日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催				
判定結果					判定結果				
備考					備考				
分配係数から類推									
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構									

毒性試験
年月日

依
頼

経過

K-1827の類似物質表

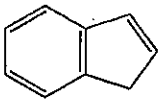
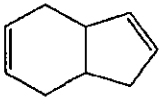
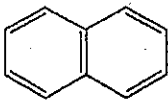
化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
[(2-メチルフェノキシ)メチル]オキシラン (2210-79-9)		3-0574 (K-1827)	標準(4W) 2008年実施 BOD -3, -3, -2 (0)*1 TOC 2, 3, 1 (2) HPLC 91, 91, 90 (90)		2007年実施 2.28 (フラスコ振とう法)		分配係数から類推	
フェニルグリシジル エーテル (122-60-1)		3-0559 (K-551)	標準(4W) 1982年実施 BOD 18, 33, 20 (24) TOC 19, 35, 20 (25) HPLC 93, 94, 92 (93) 逆転(4W) 1982年実施 BOD 58, 33, 62 (51) TOC 66, 18, 68 (51) HPLC 98, 97, 98 (97)	保留 (1982) 良分解性 (1982)				
p-sec-ブチル フェニルグリシジル エーテル (67557-76-0)		3-0575 (K-795)	標準(4W) 1986年実施 BOD 0, 0, 0 (0) TOC 0, 0, 0 (0) GC 77, 78, 77 (77) [p-sec-ブチルフェニル- 2,3-ジヒドロキシプロピル エーテルを生成し、残留した。]	難分解性 (1986)	3.56*2		変化物から類推	高濃縮性 ではない (1986)
p-sec-ブチル フェニル-2,3-ジ ヒドロキシプロピル エーテル (-)		- (K-795 変化物)			1986年実施 2.71 (フラスコ振とう法)	40.2 (48hr)	1986年実施 1区(200µg/L): 4.7~6.5 2区(20µg/L): <1.7~6.8 脂質含有率 4.2%	高濃縮性 ではない (1986)

*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

*2 Kowwin v 1.67 による計算値。

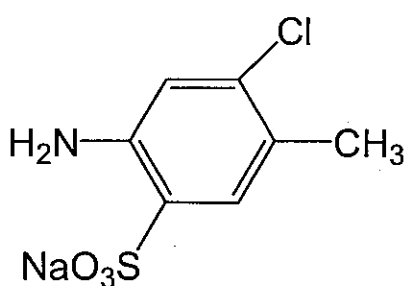
濃縮度試験					事業対象年度					平成19年度					濃縮度試験					濃縮度試験					毒性試験	
試験期間					19. 8. 14 ~ 19. 8. 27					試験期間					~					依		年月日				
試験装置 標・揮					LC50値 mg/L (hr)魚種()					試験装置 標・揮					LC50値 mg/L (hr)魚種()					類						
水槽設定濃度 ()										水槽設定濃度 ()																
被験物質					分散剤					被験物質					分散剤							経過				
第1濃度区										第1濃度区																
第2濃度区										第2濃度区																
第3濃度区										第3濃度区																
濃縮倍率					脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種()					濃縮倍率					脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種()											
					日後 日後 日後 日後 日後										日後 日後 日後 日後 日後											
第1					水槽濃度 ()					第1					水槽濃度 ()											
					倍率					第1					倍率											
第2					水槽濃度 ()					第2					水槽濃度 ()											
					倍率					第2					倍率											
第3					水槽濃度 ()					第3					水槽濃度 ()											
					倍率					第3					倍率											
審査部会					第77回 20年 7月 25日 開催					審査部会					第 回 年 月 日 開催											
判定結果										判定結果																
備考					分配係数から類推					備考																
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																										

K-1828の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
1H-インデン (95-13-6)		4-0580 (K-1828)	標準(4W)2008年実施 BOD -6, -6, -4 (0)*1 HPLC 0, 1, 1 (1)		2007年実施 3.02 (フラスコ振とう法)		分配係数から類推	
3a,4,7,7a-テトラヒ ドロ-1H-インデン (3048-65-5)		4-0581 (K-832)	標準(4W)1996年実施 BOD 0, 0, 0 (0) G C 2, 0, 3 (2)	難分解性: (1996)	1997年実施 3.83 (フラスコ振とう法)	>26.0 (48hr)	1998年実施 1区(100µg/L): 102~285 2区(10µg/L): 160~335 脂質含有率 3.6%	高濃縮性 ではない (1998)
ナフタレン (91-20-3)		4-0311 (K-58)	標準(2W)1977年実施 BOD 0, 0 (0) G C 0, 0 (0) 逆転(4W)1977年実施 BOD 0, 7 (3) G C 0, 0 (0)	保 留 (1977) 難分解性: (1982)	3.17*2	9.0 (48hr)	1979年実施 1区(150µg/L): 37~168 2区(15µg/L): 23~146 脂質含有率 -	高濃縮性 ではない (1979)

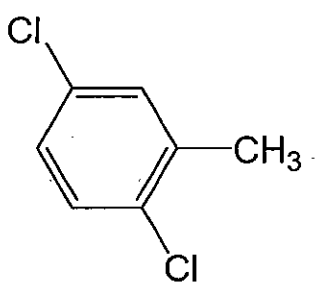
*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

*2 Kowwin v 1.67 による計算値。

整理番号 K-143B (3-2024)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
4-アミノ-2-クロロトルエン-5-スルホン酸ナトリウム (6627-59-4)	事業対象年度 平成18年度	事業対象年度 平成 年度	契約 年 月 日
	試験期間 18.12.26~19.5.17	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₇ H ₇ ClNNaO ₃ S 分子量 243.65	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L 汚泥 30 mg/L	被験物質 mg/L 汚泥 mg/L	被験物質 mg/L 汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 0, 0, 2 (1) % 直接 DOC -1, 1, 0 (0) % HPLC -2, -1, -1 (0) %	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
	純度 99.9% 外観 白色結晶性粉末		
不純物 (物質名, 含有率) - 溶解度 (対水, その他) 対水 >100 mg/L	審査部会 第 68 回 19年10月26日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点 -	判定	判定	判定
沸点 -	備考 1. 回収率 (汚泥+被験物質) 系 100 % 2. 実施機関 株式会社 三菱化学安全科学研究所	備考	備考
密度			
LD50			
チャートの有無 (有) ・ 無			
用途*1 添加剤 (塗料, 顔料)			
生産量*1 (16年) 製造及び輸入 100~1,000 t未滿			
試料 和光純薬工業株式会社			
経済産業公報発表年月日 月 日			

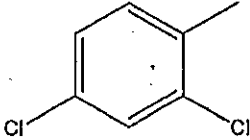
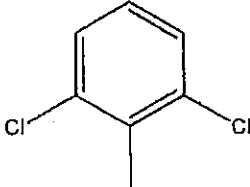
*1 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

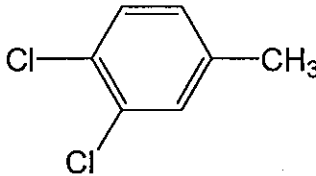
濃縮度試験							濃縮度試験							毒性試験		
試験期間 19. 12. 20 ~ 20. 3. 19							試験期間 ~							依 頼	年月日	
試験装置 (標)・揮		LC50 値 >100 mg/L (96hr) 魚種(ヒメダカ)					試験装置 標・揮		LC50 値 mg/L (hr) 魚種						経過	
水槽設定濃度 (µg/L)							水槽設定濃度 ()									
	被験物質	分散剤						被験物質	分散剤							
第1濃度区	200						第1濃度区									
第2濃度区	20						第2濃度区									
第3濃度区							第3濃度区									
濃縮倍率 脂質含有率 開始前 8.2% 終了後 7.0% 魚種(コイ)							濃縮倍率 脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種()									
		4日後	7日後	14日後	21日後	28日後			日後	日後	日後	日後	日後			
第1	水槽濃度 (µg/L)	205	204	205	205	203	第1	水槽濃度 ()								
	倍率	<3	<3	<3	<3	<3		倍率								
第2	水槽濃度 (µg/L)	20.6	20.6	20.7	20.3	20.2	第2	水槽濃度 ()								
	倍率	<24	<24	<24	<24	<24		倍率								
第3	水槽濃度 ()						第3	水槽濃度 ()								
	倍率							倍率								
審査部会 第77回 20年7月25日開催							審査部会 第 回 年 月 日 開催									
判定結果							判定結果									
備考 [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 <3倍 第2濃度区 <24倍 [回収率] 試験水 99.3% [定量下限濃度] 試験水 第1濃度区 5 µg/L 第2濃度区 0.5 µg/L 供試魚 89.7% 供試魚 430 ng/g [実施機関] 株式会社三菱化学安全科学研究所							備考									

整理番号 K-1201C (3-0078)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
2,5-ジクロロトルエン (19398-61-9)		事業対象年度 平成18年度		事業対象年度 平成 年度		契約 年 月 日	
		試験期間 19. 1. 17~19. 5. 17		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
		試験装置 Closed bottle		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮	
構造式 (示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₇ H ₆ Cl ₂ 分子量 161.03		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 4.17 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 50 μL/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
		試験結果		試験結果		試験結果	
間接		間接		間接			
直接		直接		直接			
BOD 0, 0 (0) %							
GC -2, -5 (0) %							
純度 86.5% ^{*1} 98%以上 (GC) ^{*2}		外観 僅微黄色透明液体 ^{*1} 無色透明液体 ^{*2}		審査部会 第 68 回 19年10月26日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催	
不純物 (物質名, 含有率) 2,4-ジクロロトルエン: 9.9% ^{*1} 2,6-ジクロロトルエン: 2.5% ^{*1} 2,3-ジクロロトルエン: 1.2% ^{*1}		溶解度 (対水, その他) 対水 105mg/L ^{*3}		判定		判定	
融点 4~5°C ^{*1}		1-オクタノール/水分配係数		備考		備考	
沸点 197~200°C ^{*1} 199°C ^{*2}		安定性		1. 回収率 (水+被験物質)系 103% (汚泥+被験物質)系 99% 2. 実施機関 株式会社 三菱化学安全科学研究所			
密度							
LD50							
チャートの有無 (有)・無							
用途							
生産量 (年)							
試料 和光純薬工業株式会社 ^{*1} 東京化成工業株式会社 ^{*2}							
経済産業公報発表年月日		月 日					

*1 分解度試験サンプル, *2 濃縮度試験サンプル, *3 株式会社三菱化学安全科学研究所測定値

K-1201C類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
2,4-ジクロロ トルエン (95-73-8)		3-78	標準(4W) BOD 0 GC 0	難分解性 (1995)	/	4.03 (48hr)	1区(20μg/L) : 606~858 2区(2μg/L) : 639~939 脂質含有率 4.4%	低濃縮性 (1996)
2,6-ジクロロ トルエン (118-69-4)		3-78	標準(4W) BOD 0 GC 0	難分解性 (1996)	/	5.57 (48hr)	1区(20μg/L) : 379~567 2区(2μg/L) : 246~828 脂質含有率 3.9%	低濃縮性 (1996)

整理番号 K-1201D (3-0078)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
3,4-ジクロロトルエン (95-75-0)	事業対象年度 平成18年度	事業対象年度 平成 年度	契約 年 月 日
	試験期間 19. 1. 17~19. 5. 17	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 Closed bottle	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式 (示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₇ H ₆ Cl ₂ 分子量 161.03	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 4.17 mg/L 汚泥 50 μL/L	被験物質 mg/L 汚泥 mg/L	被験物質 mg/L 汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 0.0 (0) % 直接 GC -3.1 (1) %	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
	純度 99.9%*1 95%以上 (GC)*2	外観 無色透明液体	
不純物 (物質名, 含有率) -	溶解度 (対水, その他) 対水 36mg/L*2*3	審査部会 第68回 19年10月26日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点 -		判定	判定
沸点 205℃	1-オクタノール/水分配係数 -	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 103%	備考
密度		2. 実施機関 株式会社 三菱化学安全科学研究所	
LD50	安定性 通常の取り扱い条件においては安定。酸化剤との接触に注意する。		
チャートの有無 (有)・無			
用途			
生産量 (年)			
試料 東京化成工業株式会社			
経済産業公報発表年月日	月 日		

*1 分解度試験サンプル, *2 濃縮度試験サンプル, *3 株式会社三菱化学安全科学研究所測定値

濃縮度試験						濃縮度試験						部位別試験 (濃縮倍率)		毒性試験			
試験期間 19. 12. 17 ~ 20. 3. 18						試験期間 ~								依 頼		年 月 日	
試験装置 標・揮			LC50 値 2.8 mg/L (96hr) 魚種 (ヒメダカ)			試験装置 標・揮			LC50 値			mg/L (hr) 魚種			經過		
水槽設定濃度 (µg/L)						水槽設定濃度 ()											
		被験物質		分散剤				被験物質		分散剤							
				2-メチルシロノール													
第1濃度区		20		25000				第1濃度区									
第2濃度区		2		25000				第2濃度区									
第3濃度区								第3濃度区									
濃縮倍率 脂質含有率 開始前 6.1% 終了後 6.6% 魚種 (コイ)						濃縮倍率 脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種 ()											
		7日後		17日後		28日後		35日後		39日後				日後			
第1		水槽濃度 (µg/L)		19.0		18.8		18.8		18.6		18.6		第1			水槽濃度 ()
		倍 率		1230		1270		1160		1080		1060				倍 率	
				1200		1040		1140		1100		944					
第2		水槽濃度 (µg/L)		1.99		1.88		1.84		1.84		1.85		第2		水槽濃度 ()	
		倍 率		765		985		653		826		1010				倍 率	
				795		1210		1070		737		941					
第3		水槽濃度 ()												第3		水槽濃度 ()	
		倍 率														倍 率	
審査部会 第77回 20年7月25日開催						審査部会 第 回 年 月 日 開催											
判定結果						判定結果											
備 考						備 考											
[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 1100倍 第2濃度区 866倍												第1濃度区 817 第2濃度区 1150					
[回収率] [定量下限濃度] 試験水 100% 試験水 第1濃度区 1 µg/L (実施せず) 第2濃度区 0.1 µg/L												外皮 938 内臓 2700 可食部 607					
供試魚 88.7% 供試魚 47 ng/g												第1濃度区 1040 第2濃度区 2770 可食部 777					
[実施機関] 株式会社三菱化学安全科学研究所												排泄試験 (半減期) 第1濃度区 0.7日 第2濃度区 0.9日					